

米奥小だより

令和7年5月9日（金）

No. 5

米奥小学校 校長 北添 忠

交通安全教室

4月24日（木）に交通安全教室が行われました。この日は多くの児童が自転車で登校または保護者が自転車を運び、自転車の乗り方を中心に学習しました。

歩行者は右側、自転車は左側通行、誰もが知っている事ですが、自転車に関する交通規則は複雑になってきています。歩道がある場合、子どもと保護者は歩道をゆっくり自転車で走行します。また、米奥地区の歩道には自転車通行可の標識があるので、大人も歩道を自転車でゆっくり走行できます。

子どもたちはグラウンドに作った仮設の交差点を使って、基本的な自転車走行や歩いて横断歩道を渡る方法などを学習した後、学校近くの道路に移動し、歩道がある場合の自転車の乗り方について、警察官から説明を受けました。



社会科見学

5月2日（金）に梶原まで社会科見学に行きました。まず、梶原座の近くにある苗木園という畑に行き、観光協会の方から、梶原の森林の話や木の苗を育てて山を維持していくことの大切さなどについて説明を受けました。梶原の山を見渡ししながら米奥の山との違いを聞かれた児童の一人は「梶原の山は高い」とこたえ、台地にある米奥の山とは違うと私も思ったことでした。梶原座の中では、木でできた芝居小屋のつくりに見入っていた子どもたち。米奥小の体育館より小さい建物ですが、2階席があり、日頃見ることのない古い建物に何を感じてくれたかな～と想像したことでした。

雲の上の図書館では、担当の方から、図書館のつくりや規則の説明を受けたあと、自由に本と親しむ時間を取りました。米奥小学校の図書室も「図書館」が正式名称なのですが、蔵書の数も雰囲気も雲の





上の図書館の方が上です。日頃味わうことのない雰囲気の中で、静かに本を見ていた児童の姿。もう少しこの時間を取ってあげたいと思いつつ、「11時半になっ



たのでお弁当の時間にします」と伝えました。

その後、雲の上の図書館前の広場や太郎川公園で楽しく過ごした子どもたち。図書館の中で静かにしていた時とは全然違って、全力で走り・遊んでいました。斜度が40度を超えていそうな太郎川公園の中の人工的に作られた50mくらいの斜面をほとんどの児童が登りました。私はすぐにあきらめたのですが、登った先には違う景色があったに違いありません。

帰りのバスは四十川沿いの道を通ったのですが、その景色を楽しむ児童はほとんどおらず、皆、心地よさそうに寝ていました。

次の社会科見学は10月。海に行く予定です。

